

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6 年 8 月 23 日 更新

事務事業名		ごみ一時保管所整備費補助事業					☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連					
総合計画体系	政 策	4	生活環境の健康					所属部	市民生活部	課長名	合志 義浩	
	施 策	18	住環境の充実					所属課	環境衛生課	担当者名	鍋島 一紗	
	施策の柱	56	環境衛生の充実					所属班	環境衛生班	(内線)	1142	
予算科目		会計一般	款 4	項 2	目 1	事業連番 11473	根拠法令	合志市ごみ一時保管所整備費補助金交付要綱 合志市再生資源保管所等整				
終了、開始年度		☒ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)				

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	犬・猫・カラス等がごみ袋を食い破ったり、ごみが散乱して困るという苦情が多く寄せられる中、ごみ一時保管所(ごみステーション)を清潔保持するための整備には費用も掛かることから、ステーションの管理をしている地元の負担を軽減するために平成11年度から実施している。ごみステーション整備1箇所当たりに要する経費の1/2、限度額50,000円を補助する。ごみの散乱やごみステーションの清潔保持がしやすくなった。 予算措置を行うため自治会(区)長あてに、ごみステーション整備予定箇所調査を10月に行う。 なお、平成26年度より再生資源集団回収保管所への助成を開始した。(保管所・保管庫・その他の経費それぞれの経費の2/3、限度額もそれぞれ100,000円) 令和6年度より「10188ごみ収集事業(統合親・名称変更)」「11473ごみ一時保管所整備費補助事業」を「10188ごみ収集運搬関係事業」に統合。
【業務の流れ】	事前協議、補助金交付申請受付、審査、交付決定通知、請求書受理、支払事務、整備予定箇所調査
【主な予算費目】	役務費(切手)、負担金補助及び交付金(補助金)
【意見や要望】	市民(自治会)から、ごみ一時保管所整備費上限額(現在 50,000円)を上げて欲しいとの要望がある。収集業者から、ごみステーションの使い勝手の良い構造へ改良するよう要望が来ている。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
①手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO) 各ごみステーション管理者(自治会等)が設置した14地区、41箇所に対して整備費用の1/2(限度額 50,000円)を補助した。また、再生資源保管所を設置している2団体が設置した保管庫2個に対して2/3(限度額 100,000円)を補助した。		6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) ごみ一時保管所整備費用の1/2を(限度額 50,000円、補助予定件数71箇所)補助する。また、再生資源保管所整備費の2/3(限度額 100,000円、補助予定件数5箇所)を補助する。 令和6年度より「10188ごみ収集事業(統合親・名称変更)」「11473ごみ一時保管所整備費補助事業」を「10188ごみ収集運搬関係事業」に統合。	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ア:申請書受理件数	件	10188ごみ収集事業・11473ごみ一時保管所整備費補助事業を10188ごみ収集運搬関係事業へ統合することに伴う減	
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	②対象指標(対象の大きさを表す指標)	
→市民	人	→ア:人口	
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)	
→市民がごみステーションの管理をしやすくなる	箇所	→ア:助成を受けたステーション数	
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠			総トータルコスト
不衛生を招き地域の住環境に影響を及ぼすことから、区がごみステーションの整備に要する費用の一部を補助することと、市民がステーションの管理をしやすくなることに繋がるため、成果指標を「助成を受けたステーションの数」とした。			全体計画 ~ 年度
			0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	3年度 実績(決算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	6年度 目標(当初予算)	7年度 予定	8年度 見込	9年度 見込
① 活動指標	ア	件	25	27	27	18	0	0	0	0
	イ									
② 対象指標	ア	人	63,841	64,453	65,500	64,787	0	0	0	0
	イ									
③ 成果指標	ア	箇所	25	47	36	43	0	0	0	0
	イ									
投 入 費 用	財 源 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	854	1,076	2,707	1,113			
	(A) 事業費計	(A) 事業費計	千円	854	1,076	2,707	1,113	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
人 件 費	正 規 職 員 従 事 人 数	正 規 職 員 従 事 人 数	人	5	5	6	5	0	0	0
		延べ業務時間	時間	300	350	500	290	0	0	0
	(B) 人件費計	(B) 人件費計	千円	1,173	1,332	1,992	1,056	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)		トータルコスト(A)+(B)	千円	2,027	2,408	4,699	2,169	0	0	0

事務事業名	ごみ一時保管所整備費補助事業	所属部	市民生活部	所属課	環境衛生課
-------	----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は5年度の後評価、ただし複数年度事業は5年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	② 6年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 整備等を予定しているごみステーションの事前調査及び実施の勧奨通知を行うことにより、目標達成は見込まれる。
有効性評価	③ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 合志市内の全ごみステーションを維持するための事業であり、向上の余地はない。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 他に手段がない ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 令和6年度より「10188ごみ収集事業（統合親・名称変更）」と「11473ごみ一時保管所整備費補助事業」を「10188ごみ収集運搬関係事業」に統合
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 開発による新設や移動等においては開発業者が整備をおこなっている。ただし、既設ごみステーションは、経年劣化による整備は必要であるので、削減の余地はない。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 ごみステーションの整備には近隣住民や隣接地の協力が必要である。しかし、最近ではごみステーションが近くにあると困るという苦情もあり、自治会等と解決に向けた対応が必要であるため削減の余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 市内全域が対象であるため公平・公正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 ごみステーションの管理及び整備は地元が行い、市はごみステーション整備費に関する補助金の交付であり、役割分担は適正である。

3 評価結果の総括（CHECK）

ごみステーション整備（14地区、41箇所）及び再生資源保管所（2団体、2箇所）の補助を行った。次年度の事業規模を把握するため、ごみステーション整備予定調査として、区長へ紙面によるアンケートや直接の連絡により確認した。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

<